

CAMPUS CALENDAR

蒼い海と自然にまつまれた看護大キャンパスの1年をご紹介します！
さまざまな出会いや体験、感動が学生生活の糧となります。

START!

夏のオープンキャンパス



本学への理解や感心を深める機会として高校生に向けて施設見学や公開授業を行っています。受験や大学生活に関する個別相談コーナーや在学生によるアドバイスコーナーも好評です。

楽しい催しが
いっぱい!!

看大祭



2年生が中心となって企画・広報・運営を行っており、講演会や模擬店、県看ドックなど看護学生らしい企画が盛りだくさん。毎年多くの方に来学していただいています。

卒業式・学位授与式



●補講
●試験

2月

3月

春季休業

1月

12月

冬季休業

11月

10月

●授業開始
●履修登録受付

9月

●夏期アメリカ看護研修

8月

●補講
●試験

7月

●フィールド実習

6月

●5月29日開学記念日

5月

4月

●ガイダンス
●健康診断
●授業開始
●履修登録受付

地域活動 能登地区健康キャンペーン開催



地域住民の健康なまちづくりを支援することを目的に、学生による健康キャンペーンを開催しています。

地域活動 かほく市防災訓練参加



地域住民や関係者とともにトリアージ訓練の模擬患者役、応急処置や心肺蘇生訓練のアシスタント、ボランティアセンター設立支援などを実施しました。

課外活動も
盛りだくさん!!



秋のオープンキャンパス



入学試験シーズン前に開催する秋のオープンキャンパスでは、大学教員による入試対策セミナー等を行っています。

課外活動 被災地でのボランティア活動



宮城県内の高齢者や仮設住宅の居住者にむけて健康教室や体操、お茶会などのボランティア活動を学生が主体となって行っています。

地域活動 能登地区健康講座開催



住民の健康保持・増進に寄与し、健康なまちづくりを支援することを目的に学生による健康講座を開催しました。紙芝居や寸劇を取り入れて、丁寧な分かりやすい話を心がけ、住民の方々に熱心に聞いていただきました。

看護大の特色ある科目

フィールド実習

VOICE

地域密着の交流で学ぶ 今しかできない体験



2年生 大竹 琴子

能登の民泊体験では五感全てを使い、沢山のことを学びました!美味しい食べ物、穏やかな雰囲気、住民の方々の優しい笑顔。数値や検査結果だけではわからなかった健康問題の実態。将来、地域での活動に興味がある方は民泊を伴ったフィールド実習への参加をお勧めします。看護学生という立場だからこそ聞ける話も沢山ありました。地域住民の方々と直接お話をし、暮らしを知ることが学生時代の今しか出来ない体験です。貴重な体験になること間違いなしです!

学生が自らのテーマを設定し、さまざまな健康レベルの人々が生活している場(フィールド)に向き、ともに働く体験を通じて社会的な視野を広げ、人間への理解を深めます。

国際看護演習

夏期アメリカ看護研修



ワシントン大学など、看護系大学への研修を実施し、登録した学生に単位を認定しています。現地の医療関連施設の見学や看護体験、教員による講義、学生との交流会といった多彩なプログラムは、世界の看護状況やその背景への理解を深めるとともに、語学力の向上にも役立ちます。

VOICE

アメリカでの医療の価値観を学び、日本の医療を考えた



4年生 中村 佳穂

2週間の研修に参加し、アメリカでの医療・ケアに対する医療者の価値観に触れることができました。私は助産師に興味があるので、最先端のシミュレーションセンターでの出産モデルの見学や、男性助産師の活躍の様子を学び、自然分娩が広がっている日本との共通点についても考えられるとても良い機会となりました。研修先のホストファミリーも温かく迎えてくださり、日に日に耳が慣れ、英語で会話をすることが楽しくなりました。

ヒューマンヘルスケア

VOICE

さまざまな活動に参加し 考えをより深められた



4年生 古島 安夏

ヒューマンヘルスケアでは授業で学べないことを幅広く体験し、主体的に人と触れ合い、自分の考えをより深めていくことができました。受講前はボランティアに参加する方ではなかったのですが、地域活動や講演会に参加することで、積極的に参加するようになりました。地域活動では指導を行う時もあり、自分の知識の不十分さに気づくことが多かったため、今後はさらに知識を深めて患者さんへの助言や指導に生かしていきたいと思っています。

学生が主体的に継続して地域でのボランティア活動や講演会、学術集会に参加することにより、課題解決能力の基盤、主体性、論理的思考、チームでの協働する力を養います。

VOICE

あらゆるシーン
あらゆる場面でエンジョイ!

看護大生の今を教えます!



VOICE

入学して 1年が経って

2年生 渡辺 恭子



1年間を振り返り、日々の勉強や仲間との交流、さまざまな学校行事など、とても充実していたと感じます。本学は地域に密着したボランティア活動に力を入れており、私はその中で地域の子育て支援事業のボランティア活動に参加しています。活動では親子との交流を通して、子どもの成長の様子や子育ての苦労を知ることができました。将来、地域に貢献できる看護師になりたいと考えているので、これからもたくさんのボランティア活動に参加して、学びを深めていきたいと思っています。

仲間とともに
成長できる4年間です!



VOICE

さまざまな力が 身に付いた 自治会の活動

平成29年度 自治会長
2年生 松本 郁海



自治会は学生が主体となり、春には新入生歓迎会を行い、新入生に大学がどのようなものかを説明し、秋には大学祭でビンゴ大会を開くなど、学生だけでなく地域の方にも楽しんでもらえるような企画を立案・運営しています。このような活動を通し、判断力や企画立案力、実行力などが確実に身に付くことを実感しています。また、仲間や教職員の方、地域の方といった多くの人の協力を得ることで、物事に対して大きなひとつのチームとして取り組むことの大切さを感じました。ここで経験したことや身に付いた力を看護の現場で活かし、知識や技術だけでなく患者さんをあらゆる面からサポート・ケアできる看護師になれるように、今後も学び続けていきたいです。

VOICE

学びを深める楽しさを 実感した卒業研究

平成28年度 卒業生
松本 万弥



私は実習や講義を通して興味を持った「手指消毒」をテーマに卒業研究を行いました。最初はわからないことばかりで大変に思うこともありましたが、先生方の丁寧な指導の下、ゼミの仲間と協力しながら乗り越えることができました。まだ明らかになっていないことを解明していく研究の面白さや、考察を深めることの楽しさを感じ、学びの多い研究になりました。今後は大学での経験を活かし、看護師として看護研究に携わり、患者さんへのより良いケアを考え実践していきたいです。

卒業した先輩からのメッセージ

看護師



公立能登総合病院
平成28年度卒業生
鍋野 杏奈

卒業研究で取り組んだ 研究発表の機会を得て

循環器病棟に勤務して2年目です。先輩達に助けをもらいながら、1年目が無事に過ぎました。急性期といっても高齢患者様が多く、老年看護学の知識の重要性を実感しています。今年度は第32回世界アルツハイマー病協会国際会議(京都)において卒業研究で取り組んだ研究「認知症以外の治療目的で入院した認知症高齢者の実情～家族の立場から見た現実～」を発表し、たくさんの刺激をもらいました。学生時代に取り組んだ研究が臨床でお会いする患者様やご家族への看護にも活かせるのではないかと考えています。

保健師



かほく市
平成21年度卒業生
木下 知香

追い求めた夢をつかんで、 保健師として働くこと

卒業してから予防医学に関わる仕事に従事してきましたが、嘱託の保健師を経てかほく市で保健師として採用され、働き始めました。今までは成人が主な対象でしたが、行政の保健師は新生児から高齢者まで幅広い世代の方々が対象なので、わからないことや戸惑うこともありましたが、諸先輩方に教えてもらい、様々な職種が連携・協力しながら事業を展開し、住民の健康を支えている事を知り、今はやりがいを感じています。これからその一端を担えるよう頑張っていきたいと思っています。

その人らしさを支える “地域看護師”

訪問 看護師



オレンジホームケアクリニック
地域訪問看護ステーション
「みかんの木」
平成27年度卒業生
新田 大貴

私は卒業生初の新卒訪問看護師として福井で働いています。在宅での患者さんやその家族との出会いは、私を大きく成長させてくれました。医療がサポートできるのはその人の人生の一部に過ぎません。病気や障害にとらわれることなく、常にその人らしさとは何かを考えた看護を心掛けています。訪問を重ねるたびに増えていくその人との思い出が、私の宝物になっています。みなさんぜひ在学中から積極的に地域へと飛び出し、様々な価値観に触れることで自分自身を成長させてください。

“いのち”の誕生に立ち会うことが 大きな喜びになる

助産師



金沢大学附属病院
平成24年度卒業生
吉田 綾

私は大学卒業後、助産師の資格を取得するために大学院へ進学しました。研究をしながら助産学を学ぶことはもちろん大変なことも多かったのですが、充実した2年間を送ることができました。そして今、助産師として働きはじめて3年目。母親と赤ちゃんの2つの“いのち”を預かる責任は重いですが、それ以上に“いのち”の誕生の瞬間に立ち会うことができる喜びは大きいです。優しい先輩方に支えられ、妊婦さんや赤ちゃんたちに癒されながら毎日楽しく働いています。

進学 助産師へ!



金沢大学大学院
助産学分野
平成27年度卒業生
立中 由里子

学びを深めるたびに感じる 助産師のすばらしさ

助産師免許取得のため大学院に進学しました。受験勉強は主に過去問・教科書・英語論文を使い、必死で勉強しました。また、友人と問題を出し合ったり、説明し合ったりして理解を深めました。入学後は講義・実習・研究と大変なこともありますが、この道を選んだ後悔したことはなく、大学院で学ぶたびに助産師のすばらしさを感じ「助産師を目指して良かった」と思います。大学4年間のさまざまな経験から刺激を受け、自分の進路について考えてみてください。

進学 養護教諭へ!



金沢大学養護教諭特別科
平成27年度卒業生
星川 亜由美

本当にやりたいことは何か

大学に入学する前から養護教諭に憧れており、進学を決意しました。進路に悩んだ時期もありましたが、今ではこの道に進んで良かったと心から思います。別科では同じ道を志す一生の仲間と出会えました。医学的知識とは異なる新しい視点で多角的に教育について学べる環境が別科にはあります。自分が本当にやりたいことは何か、看護大学での経験をもとに見つけてみてください。いつか一緒に働く仲間としてみなさんと出会えることを心から楽しみにしています。

学生支援

1. 修学に関する支援

- **修学相談**
担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
- **異学年との交流会**
定期試験や看護学実習、就職活動等、学生生活のさまざまな体験を、悩みながらも頑張った先輩たちが後輩に伝えてくれます。身近な先輩たちの言葉が大学生活を支えてくれます。
- **DVD学習教材**
「自ら学べるシナリオ学習 看護実践力の向上を目指してーStep by step forward!ー」があります。これは、看護学実習や就職前に自主的に学習を進めることで看護実践力を養うことを目的とした9つの事例で構成された本学オリジナルのDVD教材です。
また、附属図書館には約330タイトルのDVD教材があり、自由に視聴することができます。
- **国際交流のつどい**
学内外の講師を招き、異文化の中の多様な価値観に触れ、学生の国際的視野を広げるとともに、海外で学ぶことへの動機付けの機会を提供しています。



学生と学長等の座談会
学生と教職員が学生生活の向上に向けて建設的な議論を交わすことを目的に開催しています。



JICA青年海外協力隊に参加した本学の卒業生に、パラグアイにおける活動について話してもらいました。

2. 学生生活に関する支援

- **学年別ガイダンス・クラスアワーの開催**
毎年4月にガイダンスを実施し、学生生活に必要な情報提供を行っています。また、学生相談部会ではランチラボを開催し、学生生活を支援します。

3. 健康に関する支援

- **心身の健康相談**
保健室では健康に関する情報を発信するだけでなく、健康相談の窓口として健康増進、疾病予防をすすめています。また、急な発病や事故への応急処置にも迅速に対応。保健室以外にも学生相談室など、さまざまな心身の健康に関する相談窓口が開かれており、気軽に相談できます。



学生相談室

4. 学費等に関する支援

- **授業料減免制度** (大学院含む)
経済的理由等により、授業料の納付が困難であると認められる学生については、授業料が減免されることがあります。
- **奨学金制度**
日本学生支援機構奨学金(大学院含む)、石川県看護師等修学資金、石川県地域医療支援看護師等修学資金、石川県英資金、その他各種の奨学金制度があります。
- **後援会助成制度**
サークル活動費や臨地実習における交通費について、後援会からの助成制度があります。
- **学生居住助成制度**
かほく市内の賃貸住宅に居住している学生に対し、かほく市からの助成制度があります。
- **その他**
賃貸住宅情報に関して、談話室掲示板でお知らせしています。

さくら会 (石川県立看護大学同窓会)

さくら会は看護学部看護学科の卒業生を正会員として、会員相互の親睦をはかり、社会的発展に資し、併せて本大学の発展に寄与することを目的に2006年に設立されました。主な活動として同窓生による在学生の就職・進学についての支援、会報誌「さくら」の発行等を行っています。

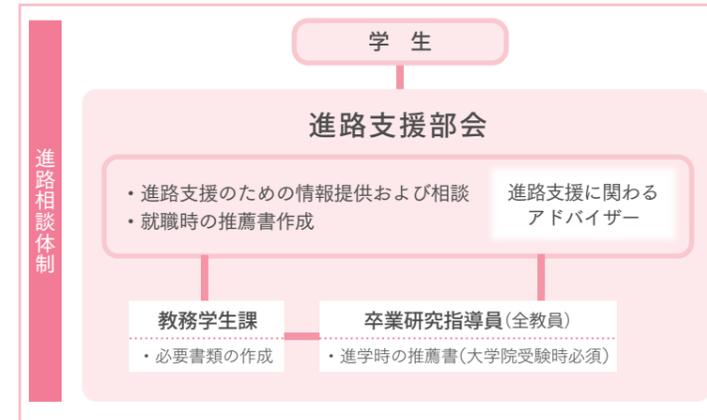


さくら会での交流会

進路支援体制と実績

学生が自主的・積極的に進路に関わる情報を収集し、自己の目的のために合致した職場・進学先を選定することができるように支援します。

● 進路支援に関わるアドバイザー

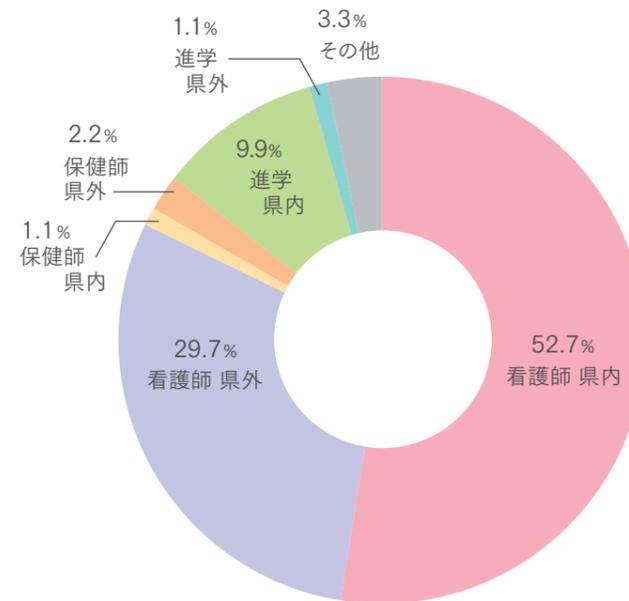


より充実した一貫性のある支援体制を提供するために、クラス担任を含む数名のアドバイザーで支援します。これらの進路アドバイザーは、看護師・保健師職の就職、助産師・養護教諭・大学院等の進学および国家試験の学習支援等を行います。学生は、主体的に進路アドバイザーの助言を求め、将来の進路について自己決定します。

- **進路の手引き**
就職や進学に向けた活動に役立つガイドブックを配布し、主体的な進路決定を支援します。
- **進路情報コーナー**
県内外の求人情報をファイリングしたコーナーがあり、自由に閲覧できます。



平成28年度 卒業生進路状況



(平成29年3月末現在)

主な就職先

| 看護師 | |
|-----------------|------------------|
| 石川県内 | 県外 |
| 石川県立中央病院 | 富山県立中央病院 |
| 金沢大学附属病院 | 富山大学附属病院 |
| 金沢医科大学病院 | 国立病院機構 敦賀医療センター |
| 公立松任石川中央病院 | 高山赤十字病院 |
| 国立病院機構 金沢医療センター | 信州大学医学部附属病院 |
| 金沢赤十字病院 | 国立国際医療研究センター |
| 公立能登総合病院 | がん研有明病院 |
| 国立病院機構 七尾病院 | NTT東日本関東病院 |
| 金沢こども医療福祉センター | 神戸市立医療センター中央市民病院 |
| 加賀市医療センター | など |
| 公立羽咋病院 | |
| 浅ノ川総合病院 など | |

| 保健師 | |
|-------------|-----------|
| 石川県内 | 県外 |
| 石川県 | 黒部市、入善町 |

主な進学先

| | |
|-------------------|--------------|
| 石川県内 | 県外 |
| 金沢大学養護教諭特別別科 | 新潟大学養護教諭特別別科 |
| 金沢大学大学院保健学専攻助産学分野 | |

施設紹介

紺碧の海とゆるやかな丘陵に抱かれた
のびやかなキャンパス



[センターホール]

教育研究棟

- 1F・2F[学習ゾーン]
 - 講義室
 - 情報処理演習室
 - 語学演習室
 - 人間機能・病態学実験室
 - 看護学実習室
 - 看護スキル・ラボ
- 3F・4F[研究ゾーン]
 - 演習室
 - 教員研究室
 - 自習室
 - 大学院生室

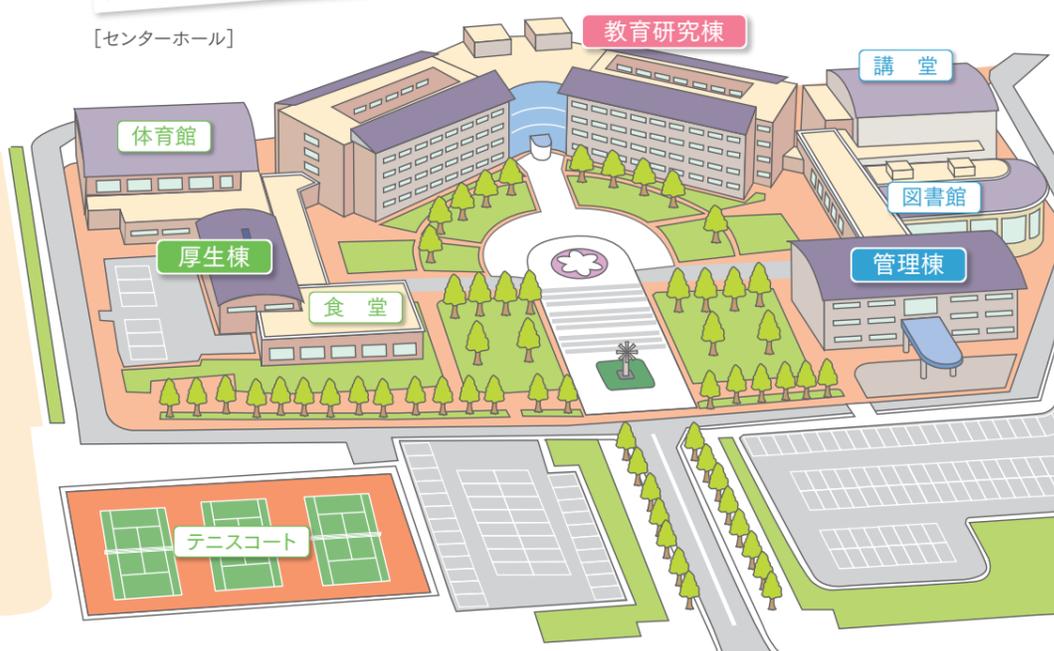


[ガラスホール]



[講堂] ステージと450の客席を備え、式典や講演会、ミニコンサートなどに対応。

CAMPUS MAP



[図書館]

約6万冊の蔵書がそろい、大学の頭脳にふさわしい充実した内容です。看護の専門書や雑誌に加え、一般教養や語学関連の書籍も多く、地域の看護職者や県民に対する情報提供も行っています。※Wifiが使えます。



[食堂]

ガラス張りの明るい食堂はキャンパスのリラックス空間 ※Wifiが使えます。



ランチメニュー

厚生棟

- 1F
 - 食堂
 - 売店
 - 談話室
 - 進路情報コーナー
 - ラーニングcommons
- 2F
 - 和室
 - サークル室
 - シャワー室



[ラーニングcommons]



[体育館]

校舎西側は、広大なグラウンド、トレーニングジム完備の体育館、3面の屋外テニスコートが集まるアクティブゾーン。

管理棟

教務に関することおよび学生の生活全般の支援や福利厚生などを担当する教務学生課。学生生活や健康に関する相談、カウンセリングに利用できる施設や、公開講座・研究会などが行われる研修室があります。

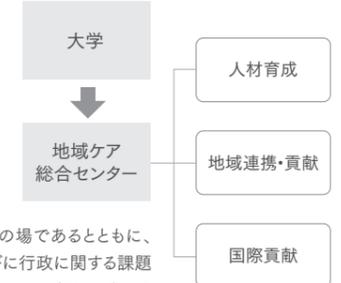
- GF
 - 事務局 (教務学生課・総務課)
 - 地域ケア総合センター
- 1F
 - 保健室
 - 学生相談室
 - 研修室
 - 看護キャリア支援センター



[研修室]

地域ケア総合センター

「地域に開かれた大学」の総合窓口。



県民および看護・福祉・介護専門職の交流の場であるとともに、看護・福祉・介護専門職の質の向上ならびに行政に関する課題を明らかにし、県民の健康・福祉の向上、行政課題の解決に資することを目的としています。

看護キャリア支援センター

看護職者のキャリア形成を支援し、看護への社会的ニーズに応じた研修・教育を企画運営しています。当センターで学んだ知識や技術を生かして、多くの修了生が現場で活躍しています。平成29年度は、認知症看護認定看護師教育課程・認定看護管理者教育課程・看護教員現任研修事業・管理者経営研修等の開催を予定し、看護職者の育成に貢献いたします。



[売店]



[談話室]



[トレーニングジム]



[テニスコート]



[グラウンド]

学びのフィールド

教育研究棟

看護学実習室

4階建ての1・2階は学習ゾーンとして、看護学実習室や実験系の教室、講義室が配置されています。



[基礎看護学実習室]

一般病室を想定した実習室です。看護の基礎となる技術や看護者としての基本的な態度を学びます。



[成人・老年看護学実習室]

現場さながらの設備・シミュレーターを利用し、患者の疑似体験もしながら、成人や高齢者への看護技術を学びます。



[母性・小児看護学実習室]

模型や器具で、妊娠・出産・育児を中心とする母子の看護・援助を学び、小児看護特有の基本的技術も学習します。



[地域・在宅・精神看護学実習室]

浴室やベッド、トイレ等の居住スペースを備え、在宅看護の実践技術を習得します。地域看護学、精神看護学も学びます。

Pick up!

[看護スキル・ラボ]



スキル(Skill=技術)・ラボ(Laboratory=科学研究室)は、シミュレーション人形や医療機器、模型などを用い、診察や治療における技術習得のトレーニングを積むことができる施設です。最新の医療機器を導入したスキル・ラボでは、実際の医療現場が忠実に再現され、繰り返し看護技術を学習すれば、着実にスキルアップを図ることができます。

さらに、教育用カメラ2台を設置し、患者とかわかる様子を撮影することで、コミュニケーション能力に対する振り返り学習もできます。また、無線LAN配信により他の教室で同時学習を行うなど、中身の濃い授業を展開しています。



[大講義室]

192席を備えた学習のメイン施設。
※Wifiが使えます。



[人間機能・病態学実験室]

疾病の成り立ちについて実習を通して深めます。



[情報処理演習室]

最新機器を備え、IT化が進む医療の現場での情報処理能力を養います。

充実した実習室と学習環境です。

アットホームな雰囲気の中でキャンパスライフを送ります。

サークル 課外活動



バラエティに富んだサークルが活動中!

●体育系

- BSK(バスケ)サークル
- フットサルサークル
- バレーボールサークル
- ソフトボールサークル
- 駅伝サークル
- 卓球サークル
- ソフトテニスサークル

●文化系

- 茶道サークル
- 華サークル
- アートサークル
- ピアノサークル
- 演劇サークル
- 音楽サークル
- バンドサークル
- 県看赤門会サークル
- 美術サークル
- 国際交流サークル

●看護・地域活動

- いきいき交流サークル TEAM まめ宝
- ボランティアサークル 災害ボランティア・サークルふたば

※平成29年3月現在

ソフトボールサークル



私たちソフトボールサークルは、男女学年関係なく「楽しく且つ真剣に」をモットーに活動しています。日頃は本学のグラウンドで練習し、シーズンになると近隣の球場で地域のチームとリーグ戦を行います。サークル員のほとんどはソフトボール初心者なので、初心者の方も経験者の方も男女問わず大歓迎です。私たちと一緒に青春の1ページを刻みましょう!

BSK(バスケ)サークル



放課後に運動好きが集まって体育館でバスケットボールをしています。初心者から経験者まで、学年も関係なくみんなで楽しくプレーしています!夏と冬の合宿ではバスケットボール以外にも先輩、後輩との交流を深めており、大学生活がより楽しく過ごせて充実しています。

茶道サークル



週に一回、外部の先生の指導のもと、お抹茶やお菓子をいただき和気あいあいとした雰囲気、茶道の作法を学んでいます。入学式や大学祭などでは、お茶会を開き、地域の方々にもお点前を披露します。その際には着物や浴衣を着るので、活動では着付けの練習もしています。和のココロを楽しみながら学んでいます。

災害ボランティアサークル・ふたば



東日本大震災後に大学が行ってきたボランティアを、今後も継続するためにサークルを立ち上げ、宮城県亘理町で年2回ほどボランティア活動を行っています。また、かほく市の防災訓練で災害時の応急処置法を紹介するなど、地域の防災意識を高める活動も進めています。今後も、看護での学びをかほく市に還元できるように活動していきたいと思っています。